

平成 29 年度岡山県農林水産総合センター 水産研究所 機関評価票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>水産振興プラン2017にある「活力ある漁村づくり」に係る項目についての調査、研究も考慮すべきである。また、地域の特性を踏まえた独自性のある課題について取り組む必要がある。一方、アユ資源の減少はマクロ的な解析が必要。</p>					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 2人	見直しが必要 3人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>内水面研究室の本所への移転や増員を望む。地域に根ざした当研究所の特色を活かせる予算配分、人員配置を求める。外部資金は積極的に利用すべきで、単県予算の獲得にも尽力願いたい。</p>					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 4人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>老朽化施設の更新は計画的に早めにすべきである。他機関と設備や機器の使用を共有しながら、独自の研究開発用に設備投資するなど、効率化を図った方が良い。可能なら栄養塩等モニタリング装置を他地区へも整備し、全県データの提供を希望する。</p>					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>地域課題に対して、どれだけ研究で対処できるかが大切。データの蓄積等により環境や水産資源に変化がみられる場合は県民に現状を伝え、養殖現場等への効果的な情報提供を行う必要がある。また、温暖化による地域漁業への影響をテーマとした研究は県民の関心を集めるのでは。</p>					
5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等の実施状況	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>見学・研修会、研究発表会等で水産に関する情報発信件数を増やし、水産研究所のアピールと「海離れ」している若い世代の人材育成に努めてもらいたい。また、中長期的な評価も行う必要がある。</p>					
6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 人	妥当 6人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>先進機関への派遣研修は技術、知識を得るために必要で、若手に参加させて欲しい。地域漁業を学ぶための現場研修も増やすべき。得られた研究成果は論文にし、情報発信してもらいたい。</p>					

7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 人	妥当 5人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
-----------	---------------	------------	----------	--------------	----------------

助言、指摘事項等

異分野および民間企業との交流や瀬戸内海をはじめとした広域連携を積極的に図るべきと考える。

8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
-------------	---------------	-------------	----------	--------------	----------------

助言、指摘事項等

水質等の情報提供は、継続が望まれる。漁業者への栄養塩等の情報提供はより詳細にして欲しい。一般県民へは新聞、テレビによる情報発信が有効である。アマモ場の再生などでは、多様な消費者組織や研究グループと交流を図ると良い。

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--------------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

全体として概ね対応できている。マーケティングやブランディングを他の機関および専門家ともっと連携して取り組んでもらいたい。

総合評価	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

岡山県としての特徴が出た先進的取り組みと県産水産物を強く押し出し、ブランド化、マーケティングを工夫して、消費拡大と生産性を高められたい。また、水産研究所としては、水産業の振興につながる研究成果を挙げる必要があると、専門機関の色合いを強める改革も必要。